

平成 27 年 3 月 31 日
行政改革推進会議

平成 27 年度の行政事業レビューの実施に向けた改善策等について

「行政事業レビュー」（以下「レビュー」という。）については、平成 26 年度の取組が一巡したところであるが、レビュー自体についても P D C A サイクルを通じ、必要な改善を図っていくことが重要である。

このような観点から、先月開催された行政改革推進会議有識者議員懇談会においては、今年度の取組で明らかになった課題等を踏まえ、「27 年度の行政事業レビューの実施に向けた改善の方向性について」（以下「改善の方向性」という。）をもとに議論が行われ、概ね原案に意見の一致を見たところである。

以上の経緯を踏まえ、平成 27 年度のレビューの実施にあたり、以下の措置を講じることとする。

1. 行政事業レビュー実施要領等の改定

以下の事項について、「行政事業レビュー実施要領」を改定（別添）するとともに、所要の事務連絡を発出する。

○レビューシート関係

- ・ 上位施策等と整合的かつ定量的な成果目標の設定の徹底
- ・ 事業所管部局による自己点検項目の追加
- ・ 自己点検欄や重複排除（関連事業）欄の記載の充実

○公開プロセス関係

- ・ 外部有識者の関与の強化等による対象事業選定の適正化
- ・ 評価結果の選択肢について、定義の修正・明確化
- ・ 財源捻出を前提として、「強力に推進」との評価も可能とする
- ・ インターネット生中継の原則化による同時公開性の向上

○政策評価との連携強化

- ・ 政策・施策に遡った事業の点検の実施
- ・ 事業の点検における政策評価のデータ等の活用

○基金関係

- ・ 基金方式による必要性の有無についての厳格な検討
- ・ 官民ファンド等の出資状況に関する情報公開様式の策定
- ・ 「基金シート」の作成・公表対象となる基金等の定義・解釈の明確化
- ・ 地方公共団体に造成された基金に関する情報公開の充実・強化

- ・基金への拠出時期・額の適切性を点検対象として明記

(注)「改善の方向性」には盛り込まれていなかったが、諸般の指摘を踏まえ、基金設置法人等の適格性についても点検対象として明記。

2. その他の対応

1. に掲げた事項のほか、「改善の方向性」を踏まえ、以下のとおり取り組むこととする。

(1) レビューシートにおける「タグ付け」とデータベース機能の充実

○レビューシートの主要事項のデータベースについて、府省横断的な事業の分析・検証に資するよう、レビューシートの最終公表後、速やかに公表する。また、データベースの対象範囲に成果目標等を追加する。

○データベースの政策分野別表示（いわゆる「タグ付け」）について、現在の18の主要政策・施策に加え、地方創生、女性活躍等5つの政策を追加する。また、公共事業等の予算の主要経費別についてもタグ付けを行う。

(2) レビューシートの公表方法の改善

レビューシート等は、各府省のホームページにおいて公表されているが、各府省によって表示の仕方や階層が区々であり、使いにくいとの指摘があることから、一定のルールを定める。

(3) 行政事業レビュー等の呼称の工夫

「行政事業レビュー」に関する用語について、国民各層に更なる浸透を図るため、分かりやすい呼称を併せて活用する（「行政事業レビュー」を「行政事業総点検」、「公開プロセス」を「各府省における公開点検」、「秋のレビュー」を「秋の年次公開検証」、「行政事業レビューシート」を「行政事業点検票」、「基金シート」を「基金点検票」と称する）。

(4) 「行政事業レビューにおける事業の点検・見直しの視点」の改定

従前、年1回の改定としてきたが、今後は歳出改革ワーキンググループ・行政事業レビュー担当の指示の下、行政改革推進本部事務局が、適時のタイミングで、指摘の整理や「視点」への反映を行い、各府省に提供するものとする。